

第635号 2024年4月2日

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57
編集発行人 学校法人 昭和女子大学広報部

昭和学報

S H O W A G A K U H O

INDEX

グローバル	2
キャンパスライフ	4
キャリア支援	6
卒業生訪問	7
トピックス	8

GIRLS BE AMBITIOUS!

昭和女子大学では社会や企業の課題解決に学生が挑戦する「プロジェクト型学修」(PBL)に力を入れています。

タンザニア
さくら女子中学校
支援プロジェクト

PBLを通じて、学生は社会や企業から評価を受けながら、課題を発見・解決する思考力や行動力を養い、自分の強みを発見できます。

現代ビジネス研究所認定「タンザニアさくら女子中学校支援プロジェクト」で支援している女子生徒2人が昨年末にタンザニアから来日し、今年3月まで本学附属高等学校で学びながら日本文化を体験しました。このプロジェクトでは、日本とタンザニアの市民の協力で現地に創設された「さくら女子中学校」を、ビジネスデザイン学科、心理学科、歴史文化学科などの1～4年生約20人が支援しています。オンラインで日本語教室を開いたり、タンザニア製小物などを販売して売上を寄付したり。メンバーが現地を訪問し、日本文化や女性のエンパワーメントに関する特別授業を行って交流を深めました。



「夢を実現する力をつけよう」



昭和女子大学 総長
坂東 真理子

昭和女子大学が目指しているのは自立・自律して夢を実現する力をもつ学生の育成です。女性の活躍があらゆる分野で期待されていますが、現実にはまだまだ乗り越えなければならない壁があります。一人ひとりの学生が専門的知識やスキルに加え「夢を実現する7つの力」を身につけ、壁を乗り越えるよう、歩みを進めています。

グローバルに通用する人材であるためには、自国の文化・社会を理解した上で「外国語を使う力」「コミュニケーションをとる力」を鍛える必要があります。ダブル・ディグリー・プログラムは、昭和女子大学の特別なプログラムです。上海交通大学、豪クイーンズランド大学、韓国・淑明女子大学など5大学との協定により、昭和女子大学で3年、相手校で2年学ぶことで、2か国2大学の大学卒業資格(学士号)を得ることができます。毎年卒業生が増え、既に90名以上の修了生を輩出しています。このほか、世界に53の協定校があります。そして世田谷キャンパスにもテンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)やブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和(BST)があ

り、国内にしながらグローバルな環境で学ぶことができます。

キャリア教育では12年連続全国女子大学実就職率トップを記録しました。*「問題を見出し目標を設定する力」「一歩踏み出して行動する力」を、企業や自治体とプロジェクト活動を通じて養っています。社会人の女性が学生にキャリア設計のアドバイスをするメンター制度もあります。

2023年4月、生涯にわたって必要な学び直しや学びの発展を支える福祉社会・経営研究科(専門職大学院)が開設し、人生やキャリアの様々なステージにある男女の大学院生たちが熱心に学んでいます。

学生たちが自分の好みやわがままにしがみつきのではなく、それぞれの長所を伸ばして社会に貢献できるよう、最後まであきらめず目標を成し遂げる力「自分を大切にする力」を養うべく、これからも昭和女子大学は全力を尽くしていきます。

- ◎グローバルに生きる力
- ◎外国語を使う力
- ◎ITを使いこなす力
- ◎コミュニケーションをとる力
- ◎問題を見出し目標を設定する力
- ◎一歩踏み出して行動する力
- ◎自分を大切にする力

夢を実現する7つの力

「昭和女子大学での学び」



昭和女子大学 学長
金尾 朗

現代の大学教育には、様々な視点の共存が今までになく必要になって来ています。どれか一つ分野への深い追求が今まで以上に要求されますが、一方で、全く違う分野、違う視点、多様な世界観の理解と共存が求められます。大学教育においては専門科目群と一般教養科目群という対のプログラムが従来から設計されています。本学ではこれらの科目群に加えて、データサイエンスなどの新規科目やグローバル、キャリア等の実践的なプログラムを教育プログラムに配置してきました。しかし、今後はさらなるプログラムの展開も必要となると考えられます。

そこで疑問も生じます。多くの概念との共生が常態だとすると、個人的主観、個性、自分のあり方もすでに変わってきているのではないのでしょうか。「『音楽』なしの人生は考えられない…」これは私がずっとお世話になってきたある音楽関連の企業でみたスローガン(元は英語ですが)です。ここに『音楽』が入るかはそれぞれですが、生きる上で必須なものが入ってないところがポイントです。何を入れるか、すでに答えを持っている方もいるか

もしれませんし、そうでない方もいるかもしれません。皆さんには大学でこの何かをぜひ見つけ、また作り出していただきたく、さらには確固たるもの、確信あるものに育て上げてほしいと思います。

自分のこだわり、これは欠かせないというものを見つけて自分のものにしていく、これは他者との共存、多様な世界観の理解のための第一歩です。その何かは、我々が教える専門分野であるかもしれませんし、一般教養の科目や、グローバル、キャリア、場合によっては文化講座などでの様々な場や空間での出会いで見つかるものかもしれません。その選択においては明示的な理由がないことも重要かもしれません。自分の意思のままに何かに取り組む、そのような機会やプロセスこそが往々にしてその人の原点や起点になると考えるからです。

本学では、皆さんに思う存分学んでいただくことが理想です。様々な機会や新たな出会いがありそれが様々な社会での発見と展開につながっていく、そのような形ができるように大学の仕組みやプロセス、空間をデザインできればと思います。本学での学びを通して、自らの思いを見つけ、新たな未来に挑んでいただきたいです。



世界に飛び立とう

昭和女子大学では全ての学生が世界でチャレンジできるよう、様々な形の留学プログラムを用意しています。

全学科、ボストンでの Semester 留学参加が可能に

グローバルに活躍するためのスキルやマインドは、専門分野にかかわらず今後の社会で必須です。本学では毎年500人を超える学生がアメリカのボストンキャンパスに留学しています。2024年度から新たに管理栄養学科も加わって、全学科で卒業を延期することなくボストン Semester プログラムへ参加が可能となりました。

語学を超える短期海外研修

夏休みと春休みに行われる短期海外研修。英語や各国語の語学研修や、学科の専門を深

めるための研修など、様々なプログラムを実施しています。中でも、コロナ後に再開した海外インターンシップがおすすめです。

香港とクアラルンプールの企業で3～4週間の就業体験を通じて、世界を舞台に働く力を養います(定員・選考あり)。詳しくはCIE在学生ポータルサイトで。

世界に広がる協定校

昭和女子大学は、53校の海外大学と協定を締結しています(2024年3月末現在)。協定校の中には世界大学ランキングトップ100に入る大学も含まれ、交換留学やダブル・ディグリー・プログラム、研究交流など様々なプログラムを用意しています。



“スーパーグローバルキャンパス”で躍動

S-GLAPで専門性を活かしてグローバル人材に

留学がカリキュラムに含まれない学科の学生を対象に、2022年度に発足した全学横断型の認証プログラム「S-GLAP(Showa Global Liberal Arts Program)」。

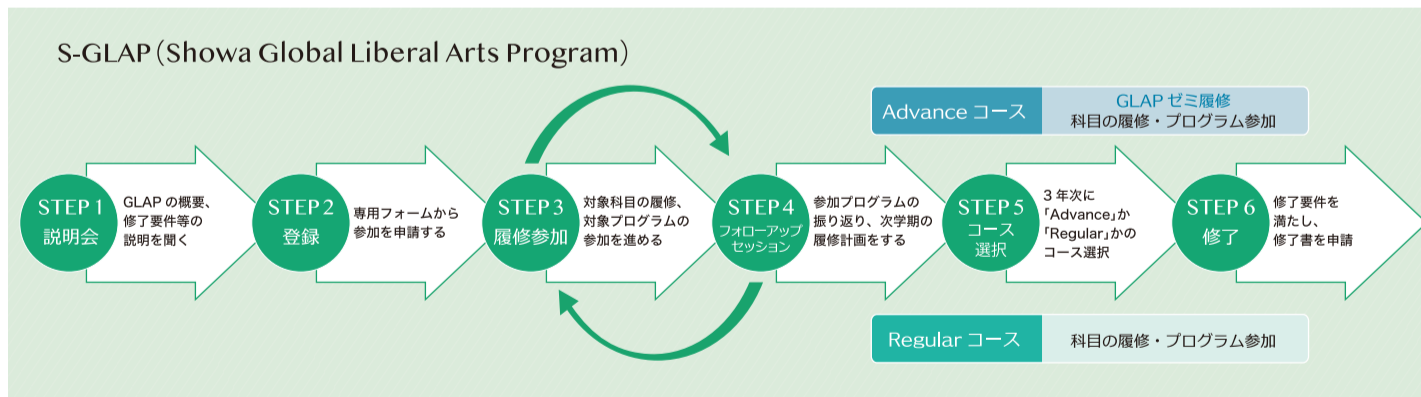
まずは1,2年次の募集期間に参加登録し、各自のペースで対象科目の履修、プログラムへの参加、語学力アップに取り組みます。毎学期行われるフォローアップセッションでは、その学期の活動を参加者同士で振り返り、修了のために必要な単位数やポイントの進捗確認を行います。3年次からは2つのコースに分かれ、Advanceコースでは英語を使って社会

課題を実践的に学ぶ「国際理解研究(通称GLAPゼミ)」に参加します。

S-GLAPは、学部・学科の垣根を越えて、グローバルに活躍したいと願う学生同士を繋ぎ、専門性+グローバルを武器に、VUCA(予測困難な)時代を生き抜く力を持った学生を応援します。

S-GLAPに参加して取り組む3点

学びの カテゴリー	語学力	語学スキル向上 グローバル社会でのコミュニケーションツールである英語およびその他外国語の語学能力を向上
	知識 マインド	グローバル基礎/応用科目の履修 本プログラム対象科目として認定されている一般教養科目、専門科目の中から関心のある科目を履修し、グローバル化する世の中で多面的に物事を捉え、考える能力を養成する。
	スキル	海外留学・研修/国内交流プログラムへの参加 本プログラム対象として認定されている留学や国内交流プログラムに参加し、体験を通じて異文化適応力、異文化コミュニケーション力などを身に付ける。



海/外/イ/ン/タ/ー/ン/シ/ッ/プ/に参加して

会計ファイナンス学科 金子 百々花

4年の夏休みに香港にある船舶仲介会社で約1か月、インターンシップに参加しました。同じ時期に本学からもう一人インターンに参加し、現地で友だちになれて心強かったです。香港では、上司が私たち2人のために複数の会社へ伺う機会を作ってくれました。世界的に有名な外資系銀行や船会社などの幹部の方と話す機会をもらえて、貴重な経験でした。

オフィスワークもしましたが、勤務時間が自由で、朝早くから夜までオフィスにいる人もいれば午後から来る人もいて、最初は驚きました。行く前に、海運について分厚い参考書2冊を苦勞して読んだおかげで実務をスムーズに理解できてよかったです。

上司たちがたまに言い合うのにも驚きましたが、自分の意見を相手にはっきり伝えた方が事が円滑に進むことが多いと感じたので、

私も思ったこと、感じたことをしっかり伝えよう心がけています。最終日にレストランでたまたま隣に座った日本の方から名刺をもらったのですが、上司がお礼の連絡をするようアドバイスをくれ、人脈の大切さも学びました。

実務経験だけでなく英語でのコミュニケーション能力や異文化理解も深められます。私にとって、人生で一番有意義で充実した夏休みになったので、チャンスがある方はぜひ参加してほしいです。





世田谷から世界に羽ばたく

グローバル推進委員会委員長 柏木 厚子 国際学科特任教授

昭和女子大学は今、グローバル教育では日本の最前線を走っています。36年前の1988年には海外キャンパスの昭和ポストンを設置し、いち早くグローバル教育の基盤を作り上げたのちは、2012年に私立の女子大学では唯一、文部科学省のグローバル人材育成推進事業に採択されています。

2019年には米国テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)をキャンパス内に誘致するなどキャンパスのグローバル化も急ピッチで進め、また世界各国に広がる協定校の数も53校へと増えました。

昭和ポストンへは毎年、長期短期を含めて500名以上の学生が留学し、またTUJを含めた

世界各国の協定校へは150名以上の学生が長期認定留学をしています。留学のカリキュラムを持つ学科に限らず、それ以外の学科から留学にチャレンジする学生も増加していますし、世田谷キャンパスの様々な国際交流プログラムでは学科を問わず多くの学生が活躍しています。

4年間の大学生活は長いようであるという間です。様々な留学や国際交流の機会を逃さず、大学生活を最大限に楽しんでください。



ダブル・ディグリー・プログラム10周年

昭和女子大学と海外大学の両方から2つの学位が取得できるダブル・ディグリー・プログラムは、開始から10年を迎えました。この間に卒業した学生の総数は何と90名以上！私立の女子大学でこれだけの実績を持つ大学は他にありません。

ダブル・ディグリー・プログラムでは、2年または3年次に下記の海外大学に編入し、2年間留学します。このプログラムに参加するために

は、高い語学力基準と成績基準を満たす必要があります。参加を希望する学生は入学当初からお互いに励まし合いながら頑張っています。

2年の間、海外の大学で「揉まれてきた」学生たちの成長ぶりは目を見張るものがあります。高い語学力や深い知識だけではなく、継続して何かをやり遂げる力を得た学生たちはこれからのグローバル社会の中で貴重な人材になってくれると期待します。



ダブル・ディグリー・プログラム 海外協定校と修了者実績 (※卒業生数は2024年3月現在)

海外協定校	プログラム開始年度(留学開始年度)	卒業生数
上海交通大学(中国)	2014年度	71名
ソウル女子大学校(韓国)	2017年度	10名
淑明女子大学校(韓国)	2021年度	3名
テンプル大学ジャパンキャンパス(アメリカ)	2020年度	9名
クイーンズランド大学(オーストラリア)	2023年度	現在3名が留学中

GIRLS BE AMBITIOUS!

TUJと学生同士が交流

学友会 小林 咲輝

学友会執行部、秋祭実行委員会、クラブ連合委員会などの学生団体が、昭和女子大(SWU)生とTUJ生が交流できる様々な機会を設けています。学友会執行部が開催したイベントは、SWU×TUJ交流企画「夏祭り」、学内のカフェで気軽に言語交流できる「Meet up at CAFE3」、ケータリングを持ち寄って一緒に映画を見る「クリスマスパーティー」など。いずれも両校から多くの参加者でにぎわいました。

秋祭では、TUJがブース参加してスタンブラリー形式のイベントを催したほか、TUJダンス部が野外ステージで見事なパフォーマンスを披露しました。クラブ連合委員会では、イベント企画部がドッジボール大会を開

催し、学生同士で盛り上がるなど、クラブ間の交流も積極的に行っています。

このように本学では学生が多数の国際交流イベントを企画主催しています。他国の学生と知り合う機会をお見逃しなく。ご参加お待ちしております！



世田谷にしながら世界とつながる

年間120人以上の外国人留学生が学び、テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)の学生も行き来する世田谷キャンパスには、語学力を高め、異文化交流を体験する機会が豊富にあります。中でも学生同士が学習中の言語で1対1の交流を行う「LEX(Language Exchange)」にはTUJ学生も多数参加し、ペアになった学生たちがCIEのフリースペースなどで熱心に交流する姿が見られます。



また、2021年度にスタートしたオンライン言語交流プログラム「LEPP(Language Exchange Partner Program)」では、これまでに約580組の海外学生とのペアが語学学習をしながら異文化理解を深めてきました。

フリートークを重ねる中で、互いを尊重することや、違いを受容することも学び、物理的な距離をこえた友情を育んでいます。

学生ならではの異文化交流

CHAWA(茶輪)は、留学生と日本人学生の異文化交流・理解促進を目的としたイベント企画団体として2015年にスタートしました。

名前の由来である「お茶をするような感覚で気軽に交流の輪を広げていきたい」という想いのもと、Afternoon Tea Time(ATT)をはじめ、季節に応じた文化体験イベントの企画・実施を行っています。学園祭での出展や学寮でのお泊りイベントは、留学生にも毎年人気です。

世界の窓口 CIE

国際交流センター(CIE)は、①海外留学・研修プログラム②外国人留学生のプログラム③学内でできる国際交流プログラム、3つの活動を通して、皆さんの国際交流活動を支援しています。

昭和ポストンや海外大学への長期留学はもちろん、短期の語学研修や専門プログラムも多種多彩です。同時に世田谷キャンパスでもグローバルな世界が広がっています。テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)の学生や海外

大学からの留学生との交流プログラム、オンライン言語交流プログラムも充実しています。

すべての学生にグローバルな世界で生きる力を身につけてほしいと願っています。

ぜひCIEのプログラムに参加してみてください。まずは「Global Network」に登録しましょう。詳しい情報はCIE在学生ポータルサイトで案内します。個別相談も受け付けています。きっとあなたに合ったプログラムが見つかるはずです。



CAMPUS MAP

GIRLS BE AMBITIOUS!

昭和女子大学ならではの施設を 思う存分活用しよう



光葉博物館 ①

7号館1階にある光葉博物館では、年5回展覧会を行っている。テーマは歴史や生活文化、美術などさまざまな分野にわたり、どの展示でも、実際の「モノ」を間近に見て学ぶ貴重な機会を得ることができる。

また、博物館は学芸員の資格取得を目指す学生の実習の場にもなっている。とりわけ現在4年次で実施している館務実習では、多くの

学生が実習先として光葉博物館を選択し、夏には館蔵の資料による企画展の運営にも携わっている。

博物館はキャンパス内でも特に緑豊かな「昭和之泉」エリアにあり、ほっと一息つける場所でもある。今年30周年という節目の年を迎え、ますます充実した展示をお届けする予定で、皆さんの来館をお待ちしている。



CAFE 3 ②

3号館1階に2022年、学内カフェ「CAFE 3」がオープンした。キャンパスでは0歳児から大学院生までが学び、年代や国籍問わず多彩な人が行き交う。カフェは、「3rd Place」=憩いの場=として、人々が語り合う交流の場となっている。環境デザイン学部環境デザイン学科田村圭介教授と卒業生でインテリアデザイナー片島奈緒非常勤講師が設計した。店名は公募で三星安澄特命講師の案に決まり、ロゴも三星先生のデザインによる。



創業者記念講堂 ③

2023年にリニューアルした創業者記念講堂は、1980年、学園創立60周年を記念し、「女性文化の創造」のための「生きた文化研究館」として完成。第一級帳「躍動する光」はバッハの「トッカータとフーガ」に合わせて3人の女性に象られたオーロラの光が乱舞する。第二級帳「光葉の大樹」は40日間かけて同窓生

1700人が木の葉1枚1枚を刺しゅうした。学生が本物に触れられるよう理想的な音響を備え、文化研究講座では、故小澤澤爾氏が交響楽団を率いて度々演奏したのをはじめ、クラシック、ジャズ、バレエ、日本古典芸能など国内外の一流の文化を紹介している。女性教養講座では、各界第一線で活躍する専門家・著名人の講演を開催している。

限界を超える挑戦術

学報委員 水野 真結

人見記念講堂に大音量のエレクトロ・ミュージックが響き渡る。2023年11月、筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断されて10年、「NO LIMIT, YOUR LIFE.」を掲げて果敢に未知の分野に挑み続ける武藤将胤氏による女性教養講座「限界を超える挑戦術」が開かれた。



難病ALSのため武藤氏は発声できない。代わりに視線入力装置と音声合成プラットフォームという技術を駆使して、自身の声による講義が違和感なく進んでいった。講演の終盤に、武藤氏によるパフォーマンスが行われた。オリジナル作品のサウンドに、率直な想いがぶつけられたリリックに、胸を強く揺さぶられた。武藤氏の「限界を作らない生き方」は、私たちに挑戦することの尊さを教えてくれた。



現代ビジネス研究所 ④

設立11周年の現代ビジネス研究所は、三つの役割を持つ。一つ目は、約120名の社会人研究員が登録している研究所としての役割である。二つ目は、学生のプロジェクトベースドラーニング(以下、プロジェクト)を統括して推進する部署としての役目である。2023年度は企業や自治体と協働するプロジェクトが30件以上実施された。産官学連携の管制塔的役割と云えよう。三つ目は世田谷区等学外との連

携窓口としての機能である。

プロジェクトに参加した学生の成長はめざましいものがある。是非、昭和女子大学の教育の特徴の一つであるプロジェクトに積極的に参加してもらいたい。UP SHOWAの募集情報を見逃さず、プロジェクトに興味を持ったら、まずは10号館1階の現代ビジネス研究所に気軽に相談しに来ていただきたい。

(現代ビジネス研究所事務局長 小森亜紀子)



「昭和女子大学どさいぐ? 鶴岡プロジェクト」

現代ビジネス研究所認定プロジェクトは多彩だ。そのうち、山形県鶴岡市の地域活性化に取り組む「昭和女子大学どさいぐ? 鶴岡プロジェクト」が本格始動を目指している。

「どさいぐ」とは、「どこに行くのですか?」という山形弁。このプロジェクトは、鶴岡市に外国人観光客を送り、鶴岡市在住の中高生が英語で市内を案内する「どさいぐツアー」を企画している。鶴岡市の認知度アップと同市中高

生に対して国際交流の機会を提供するもの。市民が地域課題解決を考えるビジネスコンテスト「チャレンジ!!オープンガバナンス2022」(東京大学共催)でオンライン視聴者賞金賞に選ばれた。

今年1月クラウドファンディングで目標額30万円を調達し、3月テンブル大学ジャパンキャンパス学生が参加してトライアルツアーを実施。課題を洗い出して本格的なツアー実施を目指している。

(左の写真はプロジェクト成果発表会で)

昭和デジタルスクエア ⑤

昭和女子大学創立100周年記念事業の一環で2021年、10号館1階に開設した学生運営のワークスペース。教室型のスタディールーム、デジタル工作機械(3Dプリンター、レーザーカッター、UVプリンター)が使えるスタジオ、ワークスペースとして利用できるラウンジを備えている。



ラーニングcommons ⑥

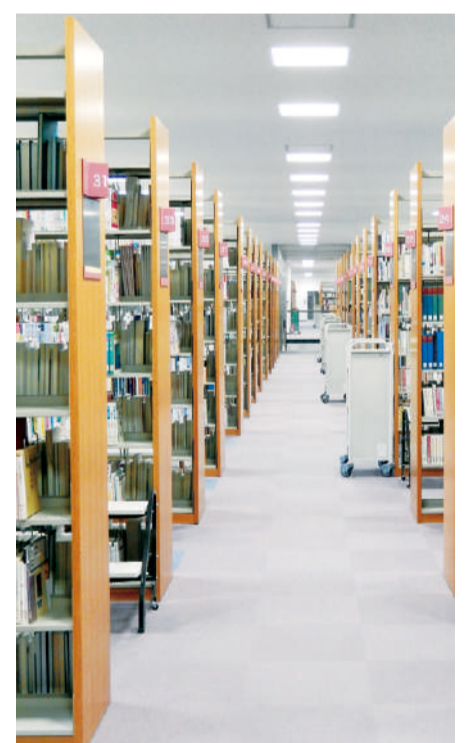


8号館1階西側にある学生、大学院生専用の主体的な学習スペース。授業の予習、復習などの自習だけでなく、プロジェクトやグループでの課題など、複数の学生が集まった課題作成、ディスカッションを行うことも可能。開室時間は、8時30分から21時30分まで。

図書館 ⑦

図書館はどんなイメージ? 本を借りる、読書する、自習する場所...大学図書館はそれだけではない。まずは、足を運んでみよう。図書館は8号館地下2階から4階にあり、入口は3階にある。3階は、グループ学習ができるスペースで、グループスタディールーム(要予約)には電子黒板やホワイトボードがあり、グループワークやプレゼンの練習もできる。4階は、個人閲覧席や個室のある静かな学習スペースだ。

大学の学びに欠かせない豊富な図書、雑誌、データベース類のうち、レポート課題や試験勉強に便利な電子書籍や電子ジャーナルなどは、自宅からもアクセスできる。わからないことがあれば、レファレンスカウンターの司書に声をかけよう。図書館の使い方や資料の探し方、他機関の資料の利用方法も相談できる。図書館ホームページでガイダンスやイベントの案内をしているので、ぜひチェックしてほしい。



人と本を知るビブリオバトル

学報委員 高橋 和奏

「ビブリオバトル」は本を持ち寄って紹介し、ディスカッションを行って、どの本が一番読みたくなったかを決める、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」コミュニケーションツールだ。2023年11月、秋桜祭で学内予選を突破した3人による学内ビブリオバトルが行われた。

紹介した本は、『密やかな結晶』(小川洋子著)、『死神の精度』(伊坂幸太郎著)、『鹿の王』



(上橋菜穂子著)。観客の投票の結果、三村沙奈さんによる「死神の精度」がチャンプ本に選ばれ、12月に本学で開催された全国大会で、全国の大学生とバトルを行った(左の写真)。

日本語日本文学科生を中心に有志の学生や図書館サポーターが運営に携わり、「バトルが活発に、かつ楽しそうに紹介する本はどれも魅力的だった。読書の素晴らしさと活字を通してコミュニケーションをとることの楽しさを実感した」と話していた。



手厚いキャリア支援 GIRLS BE AMBITIOUS!

CAREER

キャリアを考える 学年ごとの取り組み

キャリア支援部長 伊藤 純 教授

本学のキャリア支援システムは、大学全体および各学科で策定している「キャリアデザインポリシー」の下、「キャリア教育」「社会人メンター制度」「就職支援プログラム」の三本柱で構成されています。

1年生は必修科目として「キャリアデザイン入門」を履修します。2年生は「グローバル志向型」「社会貢献・共創型」「ワークライフバランス型」「やりがい・成長志向型」の4つのキャリア科目の中からの選択必修となります。就業にとどまらず、人生・生活を視野においたキャリアデザイン力を養います。

また、本学は社会人女性の方々約360名に学生の助言者となってもらい、生き方や働き方について直接アドバイスをいただく独自の「社会人メンター制度」を有しています。制度創設から13年の間に述べ19,000人超の学生がメンタリングに参加しています。日頃、社会人女性からリアルな仕事や生活のお話を聴く機会のない学生にとって、メンターの話は未知の世界に一歩踏み出す勇気を与え、視野を広げる絶好の機会となっています。

就職活動支援プログラムは3年生向けのも

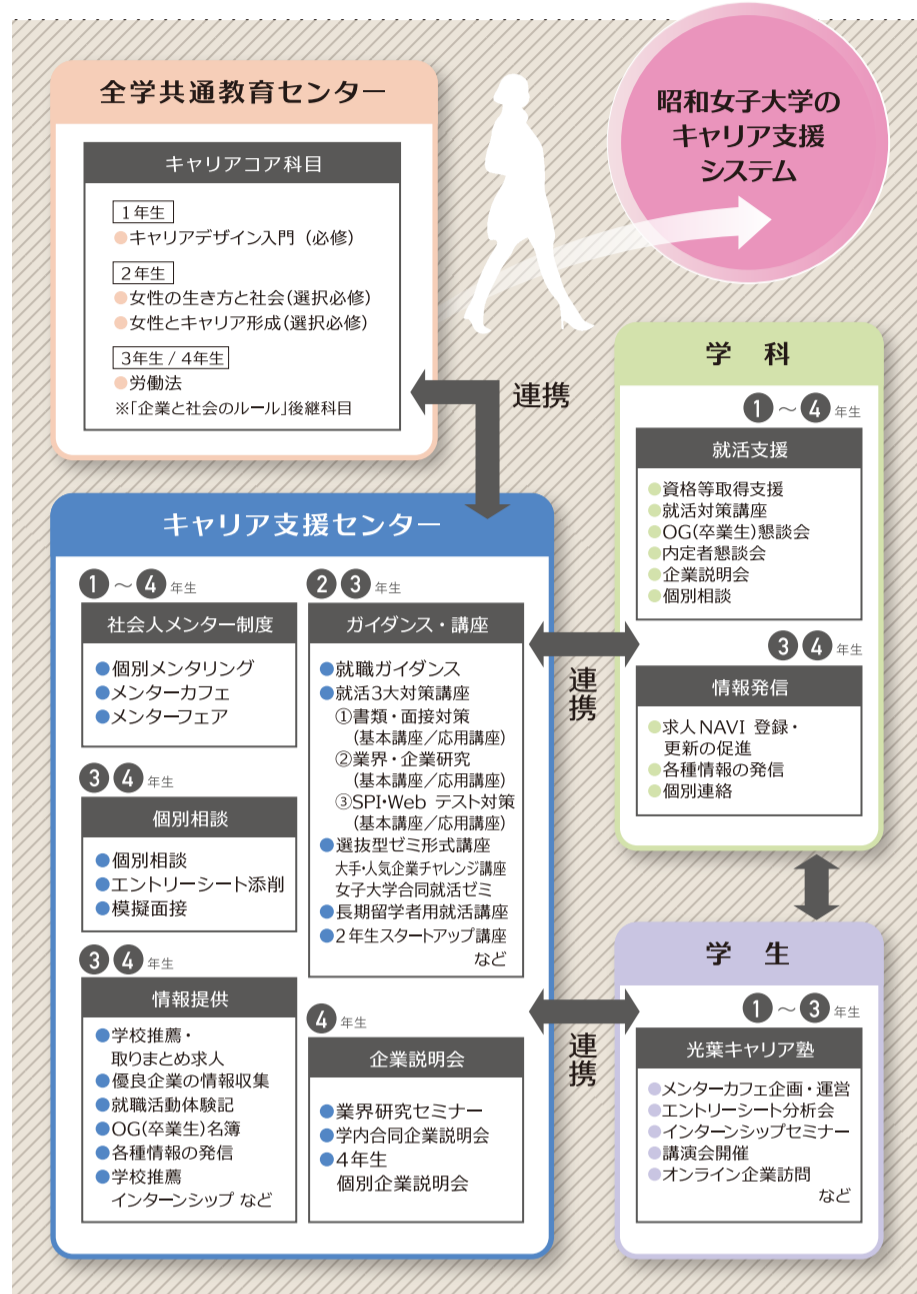
のを中心に、就職活動を進めるうえで有用な講座を取り揃えています。

適性試験対策、エントリーシートの書き方講座、模擬面接講座、グループディスカッション講座など実践的なものばかりです。低学年向けの講座、留学体験を就活に活かすプログラム、インターンシップ関連講座も好評です。

また、キャリア支援センターの職員およびキャリアカウンセラーによる個別面談やライティングサポート、各学科のキャリア支援部委員によるサポートも充実しています。

このように、本学では自らのキャリアデザインを熟考し、その実現に向けて実践する機会を豊富に提供しています。教員組織であるキャリア支援部委員、職員組織であるキャリア支援センターは、夢や目標に向かって努力する学生一人ひとりを応援しています。

この大学で、皆さんの夢や目標を叶えてください。



キャリア支援

QA

**Q.キャリア支援について
どこで情報を入手できますか?**

A.「キャリア支援センター在学向けサイト」(UP SHOWAお気に入りリンクからジャンプ)で確認できます。3年次には「キャリアガイドブック」(無料)を配布します。就職活動準備から活動中に役立つ情報が満載です。

**Q.個人面談を受ける際には
どのような準備が必要ですか?**

A.準備しているエントリーシートや履歴書、面接内容などがある場合は、面談時に持参(準備)していただくとスムーズに進めることができます。しかし、何を相談したら良いかわからない場合など、準備ができていなくても問題ありません!どんな場合でも積極的に利用してください。普段からUP SHOWAのマイステップ機能にガクチカや自己分析

に役立つ情報を記録しておくこともお勧めします。

**Q.就職活動支援講座について
教えてください。**

A.キャリア支援センターが提供する各種講座は年間を通じて体系的に組まれています。受講することで就職活動への準備ができるようになっているので、ぜひ受講してください。受講必須講座だけでなく、必要に応じて選択講座も受講し力をつけましょう。

**Q.個人面談を行うのは
どのような方ですか?**

A.国家資格を持つキャリアカウンセラーの先生や、就職支援に精通した職員が行います。
なお、面談者を選ぶことはできませんので、予めご了承ください。

キャリア支援センター: 1号館 2階 円形ホール

開室時間: 平日・土曜 8:45~17:00(予約外面談受付は16:30まで) ※大学が定める休業日除く

進路・キャリアに関することならどのようなことでも相談が可能です。
利用料金はかかりません。たくさんの資料とともにお待ちしております。

就活体験記

～キャリア支援センター活用を～

金井 日那 (2023年度 会計ファイナンス学科卒業) 大手IT企業(総合職)入社



キャリア支援センターには、3年の6月に学校推薦インターンシップに参加したことを機に利用を始めました。自己分析からメールの書き方に至るまで丁寧に相談に乗って頂きました。就職活動の期間は、キャリア支援センターに駆け込めば、悩みや不安について話を聞いてもらえる、という安心感が常にありました。そのため、ゆっくりと自分のペースで、就職活動を進めることができました。

キャリア支援センターでは、主にエントリーシートの添削と面接の練習をお願いしていました。エントリーシートは、企業ごと

の質問に対して、限られた文字数の中で「私らしさ」や強みを伝えなくてはなりません。経験やその時の感情について質問をしながら、文章を添削して下さり、その過程も自己分析につながりました。面接練習では、対応力を鍛えて頂き、どのような質問をされても自信をもって回答できるようになりました。練習を通して、面接の受け答えは回を重ねるごとに上手になるということが分かりました。しかし、本番となる企業面接は、一度きりです。万全の状態面接に挑むために、面接練習という準備は不可欠だと思います。

私は、大学で4つのプロジェクト活動でリーダーを務めました。また、資格取得にも励み、大学2年時に日商簿記2級の資格を取得しました。この経験から、「大学生活で学んだことを活かせる」、「ダイバーシティ」という二つの軸に就職活動を行いました。そして、キャリア支援センターの皆さんの、私の考え方を尊重したサポートにより、志望の企業に経理職として入社することができました。昭和女子大学の学びの場で得られるたくさんの経験を就職活動に活かして下さい。

[昭和女子大学を卒業後、一歩踏み出して行動し続ける女性を紹介するシリーズ]

卒業生
訪問

世界を舞台にキャリアを築く

川村 真由さん

在カンボジア日本国大使館 広報文化班専門調査員 (2019年 初等教育学科卒業)



在カンボジア日本国大使館の広報文化班で、日本の魅力や、日本がカンボジアで行う事業を広報し、文化やスポーツ分野での交流に取り組んでいます。例えば、文部科学省奨学金の学生の選考、大使がクメール語でカンボジア国民に話しかける動画撮影、日本大使館主催の日本語スピーチコンテストの企画運営など。2023年は両国の国交樹立70周年で記念レセプションの司会も務め、仕事は多岐にわたります。中でも大きな比重を占めているのが、アンコール遺跡群における保存修復事業の支援です。

アンコール遺跡群の保存修復

アンコール遺跡群(世界遺産)は何百という遺跡からなっていて、ポル=ポト政権下でかなり損傷されました。カンボジアと平和が成立(1991年)してすぐから日本政府は遺跡群の保存修復を続けています。「アンコール遺跡保存開発国際調整委員会」が1993年に設立され、日本とフランスが共同議長を務めています。

日仏はじめ中国、韓国、インド、イタリア、ドイツ、アメリカなど各国の修復チーム、研究機関、外交団など多くの関係者を巻き込む必要があります。保存修復の方向性を調整するのが主な役割で、日々調整力、語学力などが鍛えられていると感じます。2023年11月、ユネスコ総会とあわせてフランスで開かれた会議には、日本政府代表の一員として出張しました。カ

ンボジアからは国王と副首相、ユネスコもトップ、フランスは外相、日本から外務政務官が出席し、政務官のスピーチや通訳も担当しました。

文化財の保存・修復を通じた協力は、武力対立や内戦後の国においては平和構築と維持に重要な役割を果たすとともに、民族の誇りを取り戻すことに繋がることを実感し、とてもやりがいを感じています。



世界に飛び立つ

カンボジアとの出会いは、2年生の夏、国際学科・米倉雪子先生が企画した1週間のカンボジア海外教育研修がきっかけでした。もともと小学校教諭を目指して初等教育学科に入学しましたが、初めて日本とかけ離れている教育現場を見て、もっと全容を知りたくなりました。

「トビタテ! 留学JAPAN」に応募して、3年生の6月から13か月間、カンボジアとルワンダに渡航し、この間バックパックで東南アジア各国に足を運びました。多様な価値観に触れて自分の固定観念が崩れていき、将来は現場で平和構築に関わる仕事、恵まれない子どもたちの教育支援に関わる仕事がしたいと思うようになりました。

ルワンダには、国連フォーラムという組織のスタディツアーに参加して行きました。渡航先で国連職員に話を聞ける企画で、国連世界食糧計画(WFP)で働いている方に「自分はこういうのを作っているよ」と、キャリア計画表を見せてもらいました。

1枚紙に自分のキャリアプランを書きま。当時21歳でしたが、その頃から40歳くらいまでのキャリア計画表を作りました。自分はいつまでに何を成し遂げたいか、どんな仕事に就けばどれだけのスキルが得られるかなどを考え、紙に書き出しました。この計画帳は常に手帳に挟んで、いつでも見られるように保管しています。経験を積んだり、人に相談したり、講演を聞いたりして考え方が変わる場合もあり、気づきとか変更が生じたら書き直しています。

理論と実践の両面とらえる

大学卒業後、すぐにでも現場に出たい思いがありましたが、理論と実践の両面から物事を捉えられるようになることが重要だと考え、NGOに所属してミャンマーで1年あまりインターンをしてから、開発学で有名なイギリスのサセックス大学院に進学しました。学生時代、トビタテやバックパッカーなどで足を動かしてばかりだったので、腰を据えて見てきた問題を体系的にまとめ、論文を読み込んだり、執筆したり、各国学生たちとの議論を通じて、平和構築、教育開発について徹底的に学び直すことができました。ミャンマーをテーマに紛争と教育との相関関係について書いた修士論文は定量分析と定性分析を組み合わ



せた点が評価され、首席で卒業できました。

現場で即戦力となるには、問題解決スキル、柔軟性、情報分析力、調整力、語学力など多様なスキルが必須だと感じ、現場に出る前にこれらの力を総合的に鍛えることができる在外公館での勤務を選択して、今の仕事についています。

5年かけて大学を卒業したり、周りが教員採用試験の準備を始める中、ミャンマーでの仕事、大学院出願の準備をしたりと一般的な流れには沿わない選択をしてきましたが、順調にキャリアプランを達成してきていると思います。

将来のキャリアを描く

将来は現場で平和構築や、恵まれない子どもたちの教育支援に関わるのが目標・夢で、実現させる方法をキャリア計画表に事細かに書き出しています。現在の仕事は今年9月までの予定で、それ以降は大学院で学んだ平和構築分野の知見を生かすべくニューヨークの国際連合日本政府代表部で働いたのち、国連正規職員として現場で教育開発の仕事に携われればと思っています。いずれは日本に戻って、世界で活躍する次世代を後押しできたらとも思います。

昨年、日系企業に勤めるカンボジア人男性と結婚しました。結婚してもキャリアを諦めない伝えていて、彼は在宅でもできる仕事なので、「僕はついていく」と言っています。

大学生へのメッセージ

大切だと思うのは、自分が何を好きで、何をやりたいのか、自分の気持ちに正直になること。あとは勇気を出して思い切って一歩を踏み出すこと。

何に関心があるかわからない人は、小さいステップでもいいから、具体的かつ達成できる目標を持って何かやってみる。人に会って話を聞くと、アドバイスがあることでどっちに向かったらいいか、見えてきたりします。私は米倉先生や初等教育学科・鈴木円先生の研究室のドアを何度たたいたかわかりません。背中を押してくれたのは、円先生の「案ずるより産むが易しだよ」という言葉です。

周りの期待とか反応とか気にせず、一度しかない人生、自分のやりたいことにチャレンジしてください。

2023年度トピックス

実施・開催月	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●山崎 日出男 理事長・金尾 朗 学長就任 ●附属高等学校科目等履修生受け入れ ●福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻(専門職大学院)開設
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●SSIP 海外 11 大学の学生と 4 年ぶりに交流再開 ●光葉キャリア塾主催 社会人メンターを招き「メンターカフェ」4年ぶりに対面で開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●SWU×TUJ 交流企画「夏祭り」 学生主体で多国籍の学生が夏の風情を楽しむ
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●都営住宅活性化に向けて東京都と協定締結 学生が都営住宅に入居してコミュニティ支援
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●全国進学校調査で高評価 「就職・グローバル教育・面倒見」の3項目で昨年に続き全国女子大1位
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●国際文化研究所設立 30 周年記念 「世界遺産ホイアン日本橋展」
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館コレクション展 泉鏡花生誕 150 年記念『尾崎紅葉と泉鏡花』

2024年度トピックス

実施・開催月	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語教育センター開設 今後留学生の増加が予想され、受け入れ体制強化を図るため

学内外で活躍した学生、教員をロールモデルとして顕彰し、学内の士気を高め教育の質向上につなげることを目的として学生と教員を顕彰しています。

STUDENTS OF THE YEAR 2023

- ◎食健康科学部 健康デザイン学科 不破眞佐子研究室 一同
「災害時の食の課題」をテーマに研究を重ね、「非常食アレンジレシピコンテスト2023」において「きのこの館かけオムライス」がカゴメ賞に輝きました。本レシピはコンテスト主催企業のSNSを通じて被災地域の方々にも発信されています。
- ◎ビブリオバトル実行委員会および出場者 一同
ビブリオバトル実行委員会は、2023年12月に本学で開かれた「全国大学ビブリオバトル2023」のスタッフとして大会運営に貢献しました。あわせて本学代表の出場者は、質の高い発表を披露。学生一人ひとりが主体的かつ積極的に活動し、主催の読売新聞社からも高く評価されました。
- ◎国際学部 国際学科 佐藤 優夢
2022年度「全日本中国語スピーチコンテスト東京大会弁論部門 大学生・大学院生の部」最優秀賞の経験を踏まえ、今年度は「Panda杯全日本青年作文コンクール2023」入選賞、43か国200名以上が参加した「悦読中国一留学生が語る中国」コンクール優秀賞と、たえず研鑽に励む姿勢が他の学生の模範になると評価されました。
- ◎グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 山田隆ゼミ 一同
日々の学びをもとにビジネスコンテスト「2023年度 知財活用スチューデントアワード」に挑戦。富士通株式会社の開放特許を活用した「薬の飲み忘れタイマー」を提案して「優秀賞」に結びつけました。
- ◎人間社会学部 現代教養学科 西崎 羽美
映画研究に注力し、制作した短編映画「しどろもどろ」がバルマ短編映画祭で入選、東京フェイクドキュメンタリー映画祭でグランプリに輝きました。
- ◎CAFE 3 PRプロジェクト 一同
洗練された商品ポスターやイメージ動画を制作して、学内カフェ「CAFE3」の認知度向上・商品PRに貢献。秋祭祭ではオリジナルグッズを企画、デザイン、製作し、数時間で完売する人気を博しました。
- ◎クラブ連合委員会 委員長・副委員長
2022年度以降、クラブ連合委員会を抜本的に改革し、「クラブ・サークルに関する規約」「クラブ・サークル運営ガイドライン」を改訂。委員会の活性化とクラブ・サークル活動の円滑な運営を実現しました。



TEACHERS OF THE YEAR 2023

※職名は受賞当時

- ◎人間文化学部 日本語日本文学科 近藤 彩 教授
- ◎グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 加納 輝尚 准教授
- ◎人間社会学部 心理学科 岩山 孝幸 助教
- ◎人間社会学部 現代教養学科 天笠 邦一 准教授



2024年度 文化講座一覧

※講座のスケジュール等は変更になる可能性があります。

女性教養講座		
講演日	講題	講師肩書き・講師名
5月15日(水)	【1年生必修】知っておいて頂きたい皆さんのからだの仕組み	イク表参道 副院長 高尾 美穂
5月29日(水)	今知っておきたい教養としての和食	懐石近茶流宗家・柳原料理教室主宰・博士(醸造学) 柳原 尚之
6月12日(水)	自分の未来と子供の未来を守る食事	菅沼三田診療所副院長・慶應連合三田会名誉相談役 菅沼 安嬉子
7月10日(水)	女性と政治	自由民主党選挙対策委員長 小淵 優子
10月9日(水)	困難な時代を自分らしく生き抜くために～繊細さんでも大丈夫～	心療内科医・博士(医学)・文筆家・ジャズシンガー 海原 純子
10月16日(水)	国連が目指す世界と女性の役割	国連子どもの権利委員会委員 大谷 美紀子
10月30日(水)	性の多様性を考える～ゲイの文化人類学者として～	文化人類学者・明治学院大学国際平和研究所研究員 砂川 秀樹
11月13日(水)	すでにはじまっている未来と日本の今	IT エバンジェリスト 若宮 正子
12月11日(水)	リーダーシップ論(仮)	

文化研究講座	
講演日	公演名
4月23日(火)	【1年生必修】春の名曲コンサート
4月25日(木)	星に願いを 宇宙の神秘と音楽 *オペラ歌唱(バリトン)
5月14日(火)	ザ・家康クラシック *琴・チェロ・ピアノ
5月28日(火)	伊藤花りん サンドアートパフォーマンスコンサート
6月13日(木)	シャルル・リシャル＝アムラン *ピアノ
6月19日(水)	華麗なるトリオ *ヴァイオリン・チェロ・ピアノ
6月26日(水)	藤原歌劇団オペラ「カルメン」ハイライト
7月5日(金)	劇団四季ミュージカル ジーザスクライスト＝スーパースター【エルサレム・バージョン】
10月24日(木)	パッサ・コレギウム・ジャパン *管弦楽
10月31日(木)	チャイコフスキー夢の3大バレエ *キーウ・クラシック・バレエ
11月6日(水)	千住真理子の「四季」～千住真理子&N響メンバーによるアンサンブル～ *ヴァイオリンアンサンブル
11月14日(木)	SUPER BRASS STARS XXL EDITION *ジャズ・フュージョン
11月19日(火)	ヤマシュ・オレイニチャク *ピアノ
12月12日(木)	神谷百子 マリンバ・カルテット
12月18日(水)	落語

2025年4月新しい国際学部がスタート!

先進的な昭和女子大学のグローバル教育を担ってきた国際学部が、「国際教養学科」「国際日本学科」の誕生とともに、さらに次のステージに進みます。

英語コミュニケーション学科を2つの学科に再編成、新たなカリキュラムを導入します。

(計画中*)



※本計画は予定であり、内容が変更になる場合があります。



学報委員募集中です。gakuho@swu.ac.jp

本学のウェブサイトで見れる、歴史ある大学新聞「昭和学報」。興味のあるテーマを企画、取材し、記事を執筆することが主な活動です。書くことが好きな人、初めての人も大歓迎です。



学報に掲載されている記事はWEBでも配信中!!

昭和女子大学のウェブサイト上でも学報の記事は見るすることができます。紙面に掲載されたもの以外にも、学生記者たちが中心となって大学の魅力をたくさん発信しています。

